




全国財務局長会議関連(令和3年1月28日開催)

## 地域の特徴的な動き

- I. 最近の九州財務局管内の経済情勢
- II. 九州財務局管内における「新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響」について





令和3年1月  
九州財務局

# I. 最近の九州財務局管内の経済情勢

	前回(2年10月判断)	今回(3年1月判断)	前回比較	総括判断の要点
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、百貨店・スーパー販売が前年を下回り、宿泊者数が厳しい状況となっているなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、有効求人倍率が横ばいで推移しているなど、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きとなっている。

〔先行き〕

先行きについては、新型コロナウイルス感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりなどに十分注意する必要がある。

	前回(2年10月判断)	今回(3年1月判断)	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に底堅さがみられるものの、弱い動きとなっている	
住宅建設	弱含んでいる	弱含んでいる	

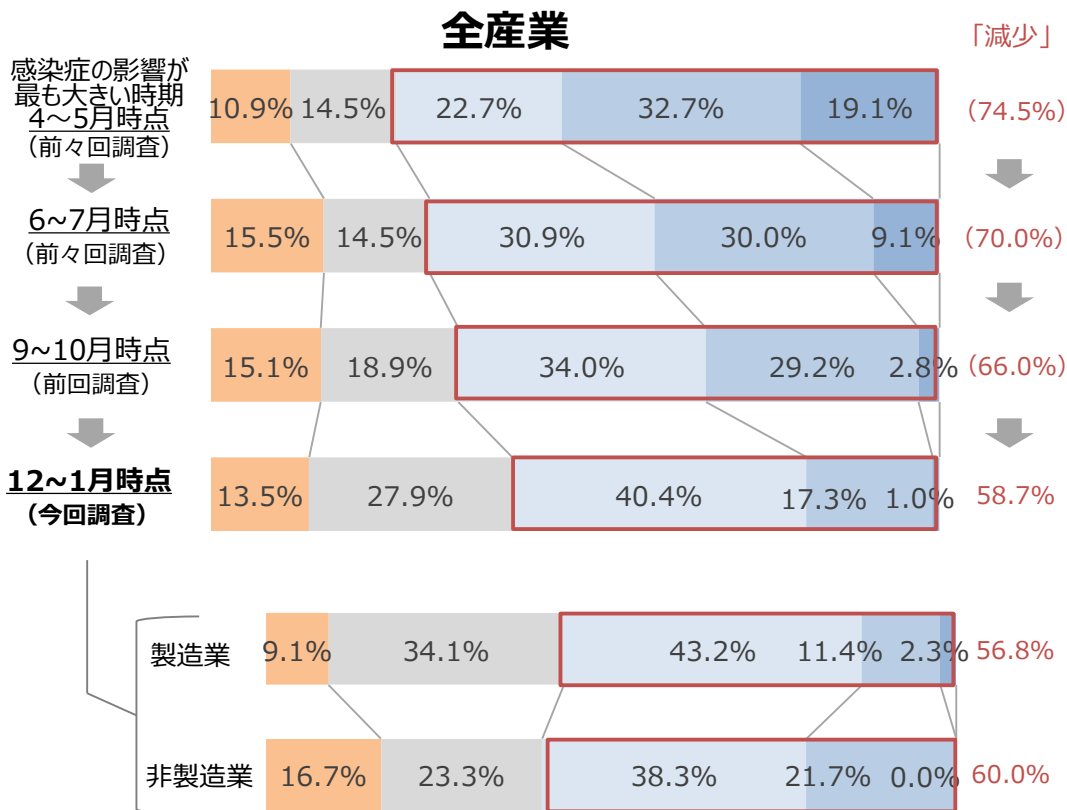
※ 令和3年1月判断は、前回2年10月判断以降、3年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

## II. 九州財務局管内における「新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響」について

- ▶ 企業の足下の業績（令和2年12月～令和3年1月）は、59%の企業が「減少」と回答し、改善傾向がみられるものの、依然として厳しい状況にある。
- ▶ 「増加」と回答した企業の割合は、巣ごもり需要等を要因として、製造業では「食料品製造業」、非製造業では「小売業」で高くなっている。
- ▶ 「5割以上の減少」、「2～5割程度の減少」と回答した企業の割合は低下しているものの、「運輸業」や「宿泊業、飲食サービス業」など観光関連の業種の割合が高く、引き続き厳しい状況がみられる。

### 企業の業績（平常時と比較した水準感）

■ 増加 ■ 特に影響なし ■ 2割以内の減少 ■ 2～5割程度の減少 ■ 5割以上の減少



- （注1）「業績」とは、原則、売上高を指すが、一部の企業は他の指標（来店客数、販売個数、受注額等）で回答。  
 （注2）「前回調査」は、財務省「感染症拡大で浮き彫りとなった企業の課題とその対応」（令和2年10月28日）。  
 （注3）「前々回調査」は、財務省「新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響とその対応」（令和2年8月4日）。  
 （注4）回答社数：104社

### 企業の声

#### 「増加」

- ▶ 足下で巣ごもり需要に落ち着きが見られるものの堅調な状況。今後、感染の再拡大により、再び需要が高まる可能性がある。【食料品：中小企業】
- ▶ コロナ禍における巣ごもり需要の影響で、ガーデニングやDIY用品等の売上が伸びている。【小売：大企業】

#### 「減少」

- ▶ 外食需要の低迷から牛の値段が下落していたが、家庭での需要の増加などから、足下では例年の95%程度の価格まで戻ってきている。【農業：中堅企業】
- ▶ 感染症の影響により、飲食店向けを中心に、出荷量は前年の8割程度と大きく落ち込んでいる。【食料品：大企業】
- ▶ 鉄道関係に資材を納めているが、先行きの不安から設備投資が抑制されており受注が減少している。【非鉄金属：中小企業】
- ▶ 感染症の影響による外出自粛により、来店客数が減少しているほか、大々的な催事を行えないといった営業活動の抑制などから、マイナスの影響。【小売：中堅企業】
- ▶ コロナ禍の影響で利用客が大幅減。11月までは利用客の戻りもみられたが、GoToトラベル事業の一時停止により利用客の減少が出ている。【運輸：中堅企業】
- ▶ 年未年始は、ほぼ予約で満室の状況であったが、GoToトラベル事業の一時停止の影響により、かなりのキャンセルが発生した。【宿泊：中小企業】